



ROTARIANS
UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン
 奉仕に結束
 平和に献身



会長 吉野 勲 幹事 板垣広志 クラブ奉仕 高橋良士 職業奉仕 飯野準治 社会奉仕 佐藤元伸 国際奉仕 阿蘇司朗 青少年奉仕 菅原辰吉

出席報告：会員 82名 出席 48名 出席率 62.69% 前回出席率 76.12% 修正出席 64名 確定出席率 82.09%
 82名 出席 63名 出席率 83.58% 62.69% 57名 76.12%

● 1462回例会（職場訪問 於；鶴岡市浄化センター）

会 長 報 告

吉野 勲 君

1. 本日は職業奉仕委員会のみなさんの計画で鶴岡市浄化センターに場所を変えての例会でございますが、職業奉仕委員長さん始め関係委員会の皆様のご準備を含め、大へんご苦勞様でございました。私達市民にとって終末処理場はどんな設備で、又どんな方法で処理をなさっているのか、かねてより見学したいものと思っておりましたが、本日この様に立派に完成されました当センターを見学することが出来ました事、厚くお礼を申し上げます。

後程センター長さんのお話を十分拝聴致したいと存じます。本日はご多忙中大勢で参上致しましたが宜敷くお願いいたします。

2. かねて当クラブより推せんを申し上げておきました財団奨学生の須田里恵子さんが、ミズリー大学コロンビア校ジャーナリズム学部大学院への合格通知が入りました。この件につきましては荘内日報さんより取材があったようで、先日詳しく掲載されて居りました。

3. 石黒慶之助君より近況報告が入っております。最近では専ら地区の奉仕活動に専念してるようです。

4. ソウルオリンピック水泳の最終選考が6月18日からあります。庄内から10名の選考者が出ており、激励金として8人に1万円宛支出します。

幹 事 報 告

板垣広志君

○例会時間・場所変更のお知らせ

・鶴岡西R.C 最終例会のため

日 時 6月24日(金) 午後6時30分

場 所 竹屋ホテル

登録料 5,000円

- 会報到着…酒田R.C (回覧中)
- 田中善六P.Gより礼状が届いております。
- アマゾン資料館への協力援助の御願いの文書
1口 2,000円
- 活動報告書の期限内、6月15日までの提出方依頼
- マリカ西館がスライドでファイヤー サイド ミーティングを行います。

ス マ イ ル

新穂光一郎君

須田里恵子さんが財団奨学生になり、担当者として背の荷を下し、ほっとしました。

会津若松で新旧分区代理がありました。その席がバナーの代りに青少年交換の話をしました。

吉野 勲 君

10日の日に2番目の息子が結婚しました。これで私も親の役目がおりましたようです。

板垣広志君

6月8日、法人会のゴルフコンペで優勝させていただきました。又、商工会議所主催の早朝マラソンで当社の者が優勝しました。

石川寿男君

佐々木君の出版記念祝賀会実行委員長を引き受けました。一生懸命やります。

飯野 準治 君

法人会のゴルフコンペ2位でした。

三井 健 君

吉野さんの結婚式に参列して。又その席、藤川君の名スピーチを聞いて。

松田 士郎 君

6月12日の商工会議所主催の早朝マラソンに、210数名の参加があり、無事終了しましたので。

藤川 享胤 君

三井君からほめられましたので。又、会長の話にあったオリンピック水泳の最終選考に佐藤元伸君の息子さんも参加されるという事で。



● 1462 回例会

ゲストスピーチ

念珠関中学校「弁論を聞く会」

人 間 と し て

佐 藤 愛 さん



私は、この間、鶴岡市内の横断歩道で、思いがけない光景を目にしました。小学生の子供達は何やら指を差して笑っていました。私はふと、それに気づき、その一人が指差す方向に目をやって見たものは、信号待ちをしていた、ちえおくれの子でした。目をきょろきょろさせながら、ふらふらと歩いていました。

私は、小学生達の行為を見た瞬間、腹立たしさに似た思いと、どうするすべもないくやしさとが混じりあった複雑な思いがあふれ出してきたのです。

この時、私は心の中で、しきりにこう叫んでいました。〈誰だってなりたくて、ちえおくれになるのではない。どうして、こんなこともわからないのだろう〉と。しかし私も、この一言さえ口に出して言うことができなかったのです。信号が青になり、小学生達や、その子が去った後も、私はなぜかその場を離れることができませんでした。人間としてなく

てはならない大事なことを、私は小学生達に教えてやることができなかつたのです。これほど情けない人間だったのだろうか、自分自身を戒めたりもしました。しかし、この時ばかりは、私に何ができたでしょう。「私に何ができたろうか」こんな言葉をつぶやきながら、もう誰もいなくなった横断歩道を、ただふり返るばかりでした。

みなさんはもし、私のように、こんな出来事を見たら、どんな態度をとったと思いますか？ 小学生達のように、笑いますか？ それとも、こんなことよく見る光景だと、自分には関係のない顔をして通り過ぎますか？ 私は、この小学生達が大人への仲間入りをする時、そう、ちょうど今の私ぐらいになった時、人間らしい人間で社会に飛びたてるように、世の中に一人でも多く、小学生の子供達に教えることのできる人がいっぱいいると思います。

私の大好きな詩があります。

あたまのかいてん 岩塚葉採
さんすうしているとき
まちがいました
おばあちゃんが
「あんた
あたまのかいてんがわるいさかいに
あかん。」

といました
わたしはくやしい
どうしてわたしは
あたまのかいてんがわるいのですか
おでこにおくすりをつけたい

ちえおくれの子が書いた詩です。私はこの詩を読むたびに胸が熱くなります。おでこにおくすりをつけたい。こんな言葉に、私は葉採ちゃん自身を目の前にしているようになりません。なぜなら、この言葉には、葉採ちゃんの、今を一生懸命に生きる人間像が浮かんでくるようにならないからです。

今の世の中には、広い社会の一員でありながら、人間になくってはならない、そして、人間でなくてはわからない大事なことを、理解しきれていない人がたくさんいます。もし、ちえのおくれている子や、身体に障害を持つ人達をばかにしたり、あざける人がいるのなら、私はその人こそが、人間ではないと非難されるべきだと思うのです。全ての人が、人間としての存在を認め合い、お互いの立場を考えて行動することこそが、本当の人間社会ではないでしょうか。

今度私が町で、また同じような光景を見かけたら、人間として大事なことを、教えてあげることのできる人になりたいと思います。

あまりすぎた平和

藤井陽子さん



最近、家族で町に出かけた時に、私の目に付いたのは、飢えに苦しんでいる人を助けようというポスターでした。そのポスターには、おなかがつき出てやせ細り、目をギョロギョロとさせている子供と、涙を流しているお母さんとがだき合っている姿が描かれて

いました。ちょうどその場に私と同じくらいの年の男子が二人いて、それを見て笑っていました。私はその時、なにがそんなにおかしくて笑っているのだろうかと思いました。二人は、「この子供やあ、中森明菜の顔どごつぶしたよんだ顔していで、もっしょー。」と、このポスターを指差してまたゲラゲラ笑っているのです。私は、心に何か突きささるような思いでした。アフリカでは、飢えに苦しんで、二秒に一人の割合で人間が死んでいるというのに、

よく笑ってられるなあと思いました。二人を呼びとめてその事を教えてやりたい気持ちになりました。その男子は、間もなくその場を通りすぎていきましたが、この二人を見ていると、私達、現在の日本の子供は、何一つ苦労しないで育ってきたんだなあとしみじみ考えさせられます。何一つ苦労しないで育ってきたというより、ありあまる平和にうぬぼれているといった方が良いのかもしれない。

私達の学校にも、ケシゴムを落とした人に「これ落どしだよ。」と手渡すと、「それ小さくなったがら捨ててもいいやんだあ。」と平気で言う人がいます。私はそんな時、いくら小さくなったケシゴムでも落として簡単に捨てるとは何て物を大切に扱わない人だろうとつくづく思います。これもみんなあまりにも平和で豊かなために、捨ててもまた新しいケシゴムを買えるという事でしょうか。「平和」にうぬぼれている結果なのではないでしょうか。

同じ地球に生まれて、同じ地球に住んでいるというのに物を大切にする、しないが国の貧富の差で決められてよいものなのでしょうか。あまりすぎる平和に甘え、私達日本人は何かを忘れていないのかと思う今、皆さんに読んでほしい一冊の本を紹介し

たいと思います。あのポスターを見て笑った二人の男子、そして、ケシゴムを簡単に捨ててしまってもいいといった友達にぜひ読んでほしいし、皆さんにも読んでほしい内容の本です。それは、山本有三という人が書いた「路傍の石」という小説です。恵まれない少年吾一が、不幸な境ぐうに負けずに力いっぱい、強く正しく生きぬこうとする姿が描かれている小説です。私は、この本を読んで、吾一が中学校に入りたくても父親のせいで呉服屋に奉公にやらせられて、それでも苦しみ・悲しみに負けないで一生懸命中学校に入りたくて勉強した力強い生き方が心に残っています。

平和で豊かな生活をしていると、物を大切にすることが失なわれ、ぎりぎりの生活を送る事によって、物をていねいにあつかい、大切にすることがめばえてくるというのは、なんとも皮肉な事です。

今の日本の豊かさは、私達の祖父母や父母が、戦後のどん底からはい上がって造りあげてきたものです。私達にとって大切な事は、あまりすぎる平和な世の中に感謝しながら、物を大切にしていこうという気持ちをもって生きていく事ではないでしょうか。

会長報告

吉野 勲君

1. 去る14日、情報委員会主催のもとファイヤー・サイド・ミーティングを20名近い皆さんよりお集り頂きワシントンホテル内ガスライトで行いました。三井委員長独特の名司会に始まり、小池・新穂両君のパネラーのもと熱心なご討議に入り、有意義な楽しい勉強会になったことをご報告いたします。終って懇親会に移り、益々友情を深め9時頃終了しました。ご参加頂きました会員の皆様有難うございました。
2. 翌15日、庄内分区の会長幹事会が湯の浜竹屋ホテルで開催されました。この会合は、現分区代理と会長、幹事と次年度の分区代理、会長、幹事との引き継ぎの会議でありまして、私も含め現の皆さんは顔色もよく和気あいあいの中に一晚をすこ

して参りました。次年度新穂新分区代理、佐藤分区幹事の健闘を祈ります。

3. 19日、米沢R.C創立30周年記念祝賀会でありましたが、丁度私も都合がつかせんで、クラブよりは祈電を打っておきました。
4. 本日午後4時より第6回のクラブ協議会を行います。役員の方々是非お集り下さい。

幹事報告

若生恒吉君

○例会時間・場所変更のお知らせ

・温海R.C

日時 6月27日 午後6時

場所 温海ホテル

登録料 4,000円

・鶴岡東R.C

例会

日 時 6月27日 午後0時30分
場 所 グランド エル・サン
登録料 1,500円
懇親会

日 時 同 日 午後4時30分
場 所 5 番 館
登録料 5,000円

・酒田中央R.C

日 時 7月1日 午後7時
場 所 温海グランドホテル
登録料 5,000円

・酒田R.C

日 時 6月29日 午後6時30分
場 所 六 助

・余目R.C

日 時 6月24日 午後7時
場 所 北川食堂
登録料 1,000円

委員会報告

ロータリー財団委員会

佐藤順治君のポール・ハリス・フェローメダル授与式

国際青少年交換委員会

新穂光一郎 君

先週結果発表したのですが、須田里恵子さんのロータリー財団奨学生応募に関する、ミズリー大学の大学院合格審査会からの書状（合格証ではありませんが）が来ており、補足いたします。

“ 私達は当ジャーナリズム校へ来ていただけることをご報告でき大変幸福に思います。

いづれのコースをとるかは来てから決めるとして、6月10日までご返事を下さい。返事が遅れると他の応募生に貴方の席は譲られてしまいます。

グラジュエートセンターから秋の授業開始6週間前には、登録書類や必要書類を送付しますので、住所変更等あれば早目にご連絡下さい。

私達のジャーナリズム学校は、1921年から大学院課程をもつ伝統のある古い学校です。

貴方がこのプログラムに参加されることを楽しみに待っています。疑問や質問等あれば、遠慮なくご連絡下さい”

青少年委員会

次期委員長 碓水節雄 君

毎年のライラ研修会が7月29日（金）、30日（土）31日（日）福島磐木平、新舞子ハイツで開催されます。18才～28才までの男女各1名が当クラブの割当てです。ご子弟、従業員の方で参加ご希望の方は今週中に私までお申込み下さい。定員オーバーの場合は当委員会でご人選させていただきます。なお、付添いの方もご希望があれば是非お申込み下さい。

30周年記念行事実行委員会

三井 徹 君

- 本日配布のアマゾン資料館の件につきましては大変恐縮なのですが、宜しくお願ひします。来年には行政の方の援助、肩入れ等あると思ひます。
- 私は老人性肺炎のため4月27日から休んでいましたので、いろいろご迷惑をおかけしてしまひておわび申し上げます。

最近、漸く作業療法の状態になりました。一時どうしようかと存じましたが、最後のご奉公にこのまま実行委員長としての奉仕活動を続けさせて頂きたいと思ひていますので、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

先日6月3日に、第1回の各委員長の会合を行ひまして、賑やかに話し合ひました。総務委員長の方から概況の骨子をお話し頂き、各委員長からも大まかな構想のお話がありました。

今後の各委員会活動としては、優れた構想をすすめて頂きまして、各々立案に至りましたならば実行委員長の方にお話し頂きたいと存じます。

（一部先行しているものもありますが）

そして、全般的な見地から配慮し、検討し、話し合いをしまして具体的な決定をしたいと存じます。

その後、実践活動に入って行くように進めたいと思います。

私はまだ健康状態が充分ではありませんので、小池副委員長さんに連絡を頂くようにお願いします。

尚、また適時に各委員長会議を開催して参ります。

そのような順序で運営して参りたいと存じますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

30周年記念誌委員会

石井敬三君

今年の1月から取りかかりました30周年に向けての記念誌本文は、漸くこの6月で24年度まで終了しました。まだ推考はできてませんが、今、24年までの会長さんから輪読してもらい、内容校正をお願いしております。

近いうちに、この本文を基として委員会を開きたいと思います。

私はこの仕事で、記録の大事な事をつくづく感じさせられております。会報が主とした資料ですが、この会報、最近でもそうですが、例会日当日だけの記録に止まり、会長報告等に出てくる行事そのものの記録が散佚して分からないケースが残念乍ら殆どでした。会報に行事、例えばICGF、親睦会、交換学生、台中港区、鹿児島、GSE等の詳細を特集にするとか、クラブ事務担当者とか幹事、会長が記録の保存にもっと意を用いてもらうとかが必要です。“記憶は消える、記録は残る”という基本的な事です。

それに、クラブ財産としての写真がない。大きいイベント、例えば年次大会等の写真はあっても、古い会長の顔も判らないのです。各行事の当事者が持っておられてもクラブとしてはない。個人々が持っておられる写真を複写する等してビジュアルなクラブ記録を系統的に行なう必要があると思います。

いづれにしても記念誌の作業はこれからが本番です。軍歌にある“どこまで続くぬかるみぞ”と云い

たい程面倒です。まだ時間は充分あるとは申せません。10年誌の場合は昭和44年から46年8月まで2年間もかかっております。

事情お察しいただき、特に古い会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

スマイル

笹原桂一君

赤川河川敷ゴルフ場の予定をオーバーする応募につき御礼（荘内日報にも掲載）

三井徹君

病気の為長い間休んでおりましたが、作業療法の状態まで回復しました。

飯野準治君

職業奉仕委員会主催の鶴岡市浄化センターでの例会が盛会のうちに無事終了。

佐藤衛君

6月16日の商工会議所のゴルフ会で準優勝。

佐藤元伸君

息子が倉敷のオリンピック選考会に参加。自分も同行し、結果は残念でしたが、岡山プラザホテルに宿泊、四国の橋も見学してきました。

三井健君

先週例会の浄化センターでの昼食で、次男のやっておりますベニマートの弁当を使って頂きました。

ビジター

鶴岡西R.C 村山 貢君

〃 井上 彬君

〃 土田 昭三朗君

〃 長南 義弘君

鶴岡東R.C 阿部 興二君